

# 介護保険特別会計

## 健康福祉部

### 介護保険課

#### 1. 被保険者数及び要介護認定者数の状況

第1号被保険者数については、毎年増加しており、特に75歳以上の後期高齢者については、平成21年3月末で8,860人となり、平成20年3月末と比較して、297人の増となっている。

要介護(要支援)認定者数については、平成21年3月末で2,662人(予防372人、介護2,290人)となり、平成20年3月末と比較して83人の増となり、認定率も年々高くなってきている。

#### ・ 第1号被保険者数 (単位:人)

	平成20年3月末	平成21年3月末	比較増減
65歳以上75歳未満	8,789	8,784	5
75歳以上	8,563	8,860	297
合計	17,352	17,644	292

#### ・ 要介護(要支援)認定者数(平成21年3月末)

予防給付	要支援1	要支援2	計			
第1号被保険者	61	300	361			
第2号被保険者	0	11	11			
合計	61	311	372	(単位:人)		

  

介護給付	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
第1号被保険者	322	638	583	360	295	2,198
第2号被保険者	6	28	29	14	15	92
合計	328	666	612	374	310	2,290

#### ・ 被保険者数、認定者の推移 (単位:人)

	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
被保険者数	16,350	16,753	17,144	17,352	17,644
認定者数	2,204	2,409	2,500	2,579	2,662
認定率(%)	13.48	14.38	14.58	14.86	15.09

2. 保険給付費の3月末は居宅介護(予防)サービス受給者数が1,597人(予防191人、介護1,406人)となっており、平成20年3月末と比較して12人の増、地域密着型(介護予防)サービス受給者は、平成21年3月末で131人となっており、前年度末と比較して41人の増となっている。施設介護サービス受給者については平成21年3月末で420人となっており、前年度末と比較して 人の増となっており、全体のサービス受給者数は、前年度末より 人の増となっている。

・ 保険給付費支出金額の推移

(単位:円)

	17年度	18年度	19年度	20年度
介護サービス費	2,946,927,406	2,935,768,445	3,092,489,297	3,408,110,741
予防(支援)サービス費	32,928,868	47,880,790	97,872,417	99,679,931
審査支払手数料	5,067,680	5,136,935	5,453,285	5,776,095
高額介護サービス費	29,416,215	52,128,052	53,655,750	60,768,671
特定入所者介護 サービス費	44,169,980	128,542,200	139,128,300	165,030,600
合計	3,058,510,149	3,169,456,422	3,388,599,049	3,739,366,038

3. 一般管理費の状況

(1)介護保険制度改正に伴うシステム改修事業

(事業費) 国庫補助金 702,000 円 一般財源 4,233,000 円

(目的)

介護保険制度改正に伴い、報酬改定等のシステム改修が必要となるため。

(内容)

要介護認定モデル事業分、認定ソフト改修に関わらない範囲分、介護報酬改定に伴うシステム改修分、所得段階の多段階化対応分に伴う改定等を行う。

4. 介護保険料について

(1)介護保険の財源

平成20年度における介護保険のサービスに係る費用は、自己負担分(原則として1割)を除いたうち、約50%を公費(国25%、県12.5%、市町村12.5%)で、残りの31%を第2号被保険者(40歳～64歳)の保険料、19%を第1号被保険者(65歳以上)の保険料で賄われている。

(2)保険料の決め方

第1号被保険者の保険料は、保険給付に係る費用(サービス費から自己負担分を除く)と地域支援事業費の約19%を賄うことになる。このため、市町村が事業運営期間である3年間(平成18年度～20年度(第3期))に必要な介護保険事業の給付費見込額と地域支援事業費見込額の総額から、収入額(国、県、市町村の負担金、介護給付費負担金等)を差し引き、第1号被保険者の保険料として収納すべき総額(保険料収納必要額)を計算し、所得段階を加味した第1号被保険者数に基づき算出することになる。

第3期(平成18年度～20年度)の志摩市の介護保険料基準月額、下記のとおり3,640円となっている。また、当市の保険料は、三重県内における平均月額保険料(4,089円)と比べると低い水準となっている。

### 第3期(平成18年度～20年度)の保険料

保険料段階	対象者	基準額に対する割合	年額(円)	月額(円)
第1段階	生活保護受給者等			
第2段階	世帯全員市町村民税非課税で課税年金収入額と合計所得金額の合計が年間80万円以下の人	基準額 ×0.5	21,840	1,820
第3段階	世帯全員市町村民税非課税で第1、第2段階以外の人	基準額 ×0.75	32,760	2,730
第4段階	本人が市町村民税非課税で世帯に課税者あり	基準額	43,680	3,640
第5段階	本人が市町村民税課税で合計所得金額が200万円未満の人	基準額 ×1.25	54,600	4,550
第6段階	本人が市町村民税課税で合計所得金額が200万円以上の人	基準額 ×1.5	65,520	5,460

### (3)保険料の納付方法と納期

#### 特別徴収

老齢(退職)年金、遺族年金、障害年金を年額18万円以上受給している人を対象に、年金から直接、天引き徴収する。納期は、仮徴収が4月、6月、8月で、本徴収が10月、12月、2月となっている。

#### 普通徴収

老齢(退職)年金、遺族年金、障害年金が年額18万円未満の人や年度の途中で65歳になった人などは特別徴収の対象とならないため、納付書等による徴収となる。納期は、仮徴収が4月、6月、8月で、本徴収が10月、12月、2月となっている。

### (4)平成20年度の保険料収納状況(第1号被保険者)

現年度分の特別徴収の収納率は100%であるが、普通徴収の収納率が85.29%となっており、9,934,201円の新たな収納未済が生じている。また、滞納繰越分については、介護保険法第200条により消滅時効の完成した6,621,300円を不納欠損処理している。収納率は15.78%となっており、10,054,208円の収納未済となっている。

平成20年4月1日～平成21年5月31日

内 訳		調定額(円)	収納額(円)	不納欠損額 (円)	収納未済額 (円)	収納率 (%)
現年度分	特別徴収	646,733,246	646,733,246	0	0	100.00
	普通徴収	67,532,325	57,598,124	0	9,934,201	85.29
計		714,265,571	704,331,370	0	9,934,201	98.61
滞納繰越分		19,798,906	3,123,398	6,621,300	10,054,208	15.78
合 計		734,064,477	707,454,768	6,621,300	19,988,409	96.38

## ふくし総合支援室

### 1. 地域支援事業

#### (1) 介護予防事業

##### 介護予防特定高齢者施策事業

・特定高齢者数(平成 21 年 3 月 31 日現在)

指 標	人 数 (人)	率 (%)
志摩市の 65 歳以上人口( )	17,369	高齢化率 29.4%
65 歳以上要介護認定者数( )	2,506	高齢者人口の 14.4%
生活機能評価対象者数( )	15,141	高齢者人口の 87.2%
生活機能評価単独受診対象者数	1,891	
特定健診同時実施受診対象者数	6,596	
後期高齢者健診同時実施受診対象者数	6,527	
生活保護者健診同時実施受診対象者数	127	
生活機能評価受診者数(8 月～12 月実施)	3,884	受診率 25.7%
特定高齢者延人数	983	内訳
特定高齢者実人数	383	高齢者人口の 2.2%

( ) 指標の人数は平成 20 年 6 月末現在の第 1 回受診券発送時の数値

運動器(229 人)・口腔機能(227 人)・栄養改善(38 人)・閉じこもり(96 人)・認知症(204 人)うつ(189 人)

・通所型介護予防事業 (委託事業費 : 64,500 円)

運動器の機能向上事業 (延 3 回開催、10 人参加) 30,000 円

栄養改善事業 (延 3 回開催、3 人参加) 4,500 円

口腔機能の向上事業 (延 3 回開催、20 人参加) 30,000 円

・訪問型介護予防事業

閉じこもりとうつ予防の該当者のうち重複者 57 名の状況確認をし、連絡のとれた 12 件に訪問を実施した。

介護予防一般高齢者施策事業

・健康相談事業

血圧測定、尿検査、体重・体脂肪測定、健康に関する相談の実施

老人会健康相談 7 回 延べ 171 人

定期健康相談

170回

延べ1031人

地区	回数(回)	人数(人)
浜島	26	204
大王	24	199
志摩	36	172
阿児	36	225
磯部	48	231
計	170	1031

・スクエアステップ推進事業(委託事業費 787,500 円)

特定非営利活動法人スクエアステップ協会に委託し、「スクエアステップ」を地域で推進していくための地域サポーターを計 18 人養成した。

また、H18・19 年度修了者を対象に研修会を 2 回実施。33 人の参加があった。

・貯筋運動推進事業

老人クラブメンバー、サロン参加者、はまゆう大学参加者等の対象者に合わせて高齢者筋力トレーニング「貯筋運動」と志摩市健脚運動を選択して実施。

実施回数 94 回 (延参加者数 1,892 人)

・お達者サポーター養成講座及びフォロー講座

全 6 回の講座で、介護予防リーダーを養成。修了者数:39 人

また、昨年度修了者を対象に連絡会を 3 回、フォロー研修を 1 回実施。延べ 111 人の参加があった。

・健康教育

介護予防の必要性について知識の普及啓発を図る。26 回実施し、延べ 889 人の参加があった。

・介護予防教室(委託事業費 149,100 円)

中部化成薬品に委託し、転倒予防教室を開催した。午前と午後を合わせて 59 人の参加があった。

・ボランティア育成支援事業 (委託事業費 : 100,000 円)

志摩市社会福祉協議会に委託し、傾聴ボランティアスキルアップ講座を 3 回実施。延べ 57 人の参加があった。

・地域サロン推進事業(委託事業費:101,000 円)

志摩市社会福祉協議会に委託し、地域活動組織(いきいきサロン等)の育成・支援を市内 4 地区で 36 回実施。延べ 529 人の参加があった。

(2) 包括的支援事業・任意事業

各種ネットワーク会議等の開催状況

- ・ふくし総合支援室運営協議会 (3回開催)
- ・地域連携推進会議 (2回開催)
- ・地域包括ケア会議 (15回開催)

内訳： 浜島(3回)・大王(3回)・志摩(3回)・阿児(3回)・磯部(3回)

総合相談支援の状況

・地域別相談件数

	総合	阿児	志摩	大王	浜島	磯部	総計
平日	513	1,113	452	316	105	246	2,745
休日	18	83	1	2	3	0	107
夜間	6	66	2	0	4	0	78
総計	537	1,262	455	318	112	246	2,930

・相談方法別相談件数

	総合	阿児	志摩	大王	浜島	磯部	総計
電話	499	529	198	131	52	107	1,516
来所	16	334	96	82	50	51	629
訪問	12	296	117	102	4	62	593
その他	10	102	44	3	6	26	192
総計	537	1,262	455	318	112	246	2,930

・相談者別相談件数

	総合	阿児	志摩	大王	浜島	磯部	総計
本人	190	516	160	154	42	95	1,157
家族	273	8	59	38	28	31	437
関係機関	35	260	149	61	7	63	575
医療機関	10	96	7	13	1	1	128
市役所内	5	80	43	6	2	33	169
親族	8	98	25	35	11	9	186
民生委員	6	120	7	8	7	11	159
その他	10	84	5	3	14	3	119
総計	537	1,262	455	318	112	246	2,930

・相談内容別相談件数

	総合	阿児	志摩	大王	浜島	磯部	計
1.生活・家族に関すること	31	332	89	64	33	51	600
2.介護保険に関すること	21	389	222	164	9	125	930
3.介護予防に関すること	0	11	13	0	3	1	28
4.新予防給付マネジメント	0	29	31	7	0	22	89
5.医療に関すること	14	123	36	24	19	3	219
6.経済的問題に関すること	9	80	9	7	15	17	137
7.施設利用に関すること	6	69	14	25	2	4	120
8.虐待に関すること	136	20	3	2	0	1	162
9.児童に関すること	168	0	0	2	4	1	175
10.福祉サービスに関すること	2	75	16	14	19	15	141
11.権利擁護に関すること	91	28	0	4	0	0	123
12.女性相談に関すること	57	0	0	0	0	0	57
13.その他	2	106	22	5	8	6	149
計	537	1,262	455	318	112	246	2,930

権利擁護事業

- ・高齢者等虐待防止ネットワーク会議（3回開催）
- ・権利擁護専門委員会（6回開催）
- ・成年後見制度説明会・相談会（説明会 97人参加・相談会 9人参加）
- ・成年後見制度市長申立て（5件申立てを行った。）
- ・高齢者あんしん見守りネットワーク事業  
ネットワーク登録者数（平成21年2月末:779人）
- ・あんしん見守り協力員研修会（6回開催・延703人参加）
  - 「認知症とは？認知症への対応法」（166人参加）
  - 「平成19年度高齢者等虐待及び児童虐待の現状と対応について」（2回 143人参加）
  - 「判断能力の不十分な人を消費者被害から守る！成年後見制度の活用法」（97人参加）
  - 「脳の病気いろいろ～家庭や地域における認知症高齢者への対応方法」（195人参加）
  - 「増加する認知症高齢者の現状と高齢者虐待防止」（102人参加）

・認知症サポーターキャラバンメイト養成講座 (6/26 開催 32 人参加)

・認知症サポーター養成講座 (22 回開催 延 883 人参加)

・高齢者等の虐待通報・相談等の状況について

虐待通報・相談実件数 101 件 (うち虐待と認定されたもの 64 件)

被虐待者の状況 (性別:男 18 人・女 46 人 平均年齢:82.06 歳)

身体状況:要支援・要介護認定者 50 人 (うち認知症 35 人・寝たきり 21 人)

虐待種別 (身体的虐待 18 経済的虐待 20 心理的虐待 34 ネグレクト 21)

対応等については、公的サービスの利用開始(追加利用)、施設入所、成年後見人申立ての利用支援等の対応を行った。

包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

・ケアマネジャー研修会 (年間 3 回開催、延 98 人参加)

・ケアプランチェックの実施 (延チェック対象事業所 16 事業所、実施件数 69 件)

任意事業

・家族介護教室委託事業 (委託事業費 : 265,876 円)

目 的:介護者等に対し、適切な介護知識、技術を習得させること。

委託先:志摩市社会福祉協議会 (各地区 3 回開催、延べ 184 人参加)

・介護者交流会委託事業 (委託事業費 : 451,392 円)

目 的:介護者を一時的に介護から解放し、相互交流できる機会を提供する。

委託先:志摩市社会福祉協議会 (各地区 6 回開催、延べ 268 人参加)

・地域自立生活支援事業 (事業費 : 2,088,500 円)

配食サービス事業 (利用人数 841 人、8,354 食)

・家族介護継続支援事業 (事業費 : 4,695,000 円)

介護用品支給事業 (利用延人数 939 人)

・高齢者あんしん見守りネットワーク事業 (事業費 : 0 円)

徘徊高齢者家庭支援事業 (利用者数 0 人)